

報道関係者 各位

インフルエンザ患者数増加に伴う注意喚起について

山形県感染症発生動向調査における急性呼吸器感染症定点医療機関（県内 39 ヲ所）からのインフルエンザ患者報告数は、2026 年第 1 週にインフルエンザ注意報レベル（参考値）（一定点あたり 10）を下回り、以降減少が続いておりましたが、第 4 週は増加に転じ、患者報告数が一定点あたり 11.62 となりました。

つきましては、県民の皆様への注意喚起に御協力くださるようお願いいたします。

1 感染症発生動向調査による一定点医療機関あたりの患者報告数

	第 2 週 (1/5～1/11)	第 3 週 (1/12～1/18)	第 4 週 (1/19～1/25)
山形県	6.87	6.32	11.62
山形市	4.43	6.14	11.29
村山	10.40	8.00	14.90
最上	12.50	9.75	11.00
置賜	6.67	6.60	13.67
庄内	3.58	3.75	8.25
全 国	10.54	11.33	集計中

2 迅速検査キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数（県全体）
（定点医療機関からの報告）

	第 2 週	第 3 週	第 4 週
A 型	173 件	134 件	147 件
B 型	93 件	106 件	306 件
不明	2 件	—	—

3 インフルエンザについて

- ・ 1～3 日間の潜伏期間を経て、突然の高熱とともに、関節痛、筋肉痛などの全身症状が現れるのが特徴で、のどの痛み、鼻汁、咳などの症状も見られます。普通の風邪と比べて全身症状が強いのが特徴です。
- ・ 飛沫感染と接触感染により感染します。

4 基本的な感染対策について

- ・ 日頃から体温や健康状態のセルフチェックを行い、「場面や状況に応じた適切なマスクの着用」、「換気」、「手指消毒」による予防を心がけてください。
- ・ 高齢者や乳幼児が感染すると重症化する場合があります。重症化を予防するには、インフルエンザワクチンの予防接種が効果的です。

問合せ先 健康福祉企画課
課長補佐(感染症対策担当) 濱本 幸樹
023-630-2292
広 報 監 健康福祉部次長 菅原 正春